

改めて考える、地域とエネルギーの処方箋

今回の講師は、昨年のPJ80セミナーでも大好評だったドイツ・ベルリン在住でクラブヴォーバンPTメンバーの西村健佑氏が帰国し登壇します。西村氏は、欧州エネルギー市場・政策に関するコンサルタントや調査を手がけ、ドイツのVPPやIoTやセクターカップリングなどの欧州の最新のエネルギーの政策やビジネス状況などについて精通しています。

ドイツは、太陽光や風力やバイオマスなどここ数十年ほどで急激に再エネが増え、2019年にはドイツの電源全体の40%が再エネで賄われるまでに再エネ産業が大きく成長しました。再エネは本来、地域の自然を地域のエネルギーとして活用し、地域の次世代に残そうという技術ですが、使い方や進め方を間違えると、地域を破壊することにつながるようになってきました。

当会代表の村上が提唱した「kWh=¥（キロワットアワーイズマネー）」は日本でも浸透してきたように感じられます。しかし「¥」ばかりが先にたった開発も見られるようになり、本当の意味で地域にとって意味のある取り組みになっているか、逆に地域のアクセプタンスを下げるような開発ではないか、首を傾げざるを得ないようなケースも見られます。

これはもちろんドイツでも見られる現象です。ドイツではこうした地域とエネルギーの課題にどう対応してきたのか。大規模開発が難しい仕組み、自治体所有のインフラ事業会社シュタットベルケと地域の協業による価値創造といった事例から、改めて成功の鍵を読み解き、地域にとって理想的なエネルギー転換の進め方や、今後の日本の再エネ開発のあり方について一緒に考えていきましょう！

内 容：「改めて考える、地域とエネルギーの処方箋」講演後、質疑応答 約30分

場 所：クラブヴォーバン セミナールーム（東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8F）

定 員：残席約20名 申し込み要

終了後、希望者があれば会場近くのお店で登壇者と食卓会。参加費は自費負担、事前申込要

参加費：サポーター会員優先無料 / 非会員 3,000円（申込多数の場合は先着順）

西村 健佑

Nishimura, Kensuke

ドイツ・ベルリン在住
欧州エネルギー市場・政策に関する
コンサルタント/調査員



欧州のエネルギー市場・政策に関する通訳・調査を手がける。立命館大学経済学部卒業後2005年に渡独、ベルリン自由大学環境政策研究所環境学修士。同研究所博士課程在籍中よりベルリンの調査会社で勤務し、現在は独立し欧州のエネルギー・産業政策の調査、通訳、翻訳や日独中小企業のビジネスコンサルなど。クラブヴォーバンPTメンバー。

共著に『海外キャリアのつくり方～ドイツ・エネルギーから社会を変える仕事とは？～』『進化するエネルギービジネス』など

2019年

5/14(火)

18～20時

■ 問い合わせ・連絡先・予約 ■

一般社団法人クラブヴォーバン

Email mail@club-vauban.net

東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8階

①お名前 ②ご所属 ③サポーター会員有無を明記



club Vauban
クラブヴォーバン



「JR・地下鉄 新橋」駅 徒歩2分

クラブヴォーバンは、世界に先駆けて持続可能なまちづくりを行っているドイツの“ヴォーバン住宅地”を模範とし、日本国内で「持続可能な低炭素型のまちづくり」をめざす経営者や地方自治体・研究者・学生などあらゆる立場の人たちが学び集うためのネットワーク(場)です